



# 飯綱町コミュニティスクールだより



スタート特集号

No.1 平成31年1月31日 飯綱町教育委員会

昨年度4つの小学校が閉校し、今年度新たに2つの小学校が開校しました。2つの新小学校の誕生に合わせて、新たに飯綱町コミュニティスクールが発足しました。

子どもたちがふるさと飯綱町で育った思いを大切に、「地域に開かれた学校」から一步踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民・保護者と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指してコミュニティスクールを設置しました。

## 登下校の見守り

コミュニティスクールがスタートする前から、通学路に立って児童生徒の登下校の見守りを行っていただいている方がいました。

新小学校の開校を機に、改めて「子ども安全見守り隊」として組織を立ち上げ毎日の見守りを行っています。



スクールバス停付近見守り

### <子ども安全見守り隊の募集>

子どもたちの登校や下校時に見守りの協力いただける方は、教育委員会まで連絡をお願いします。

飯綱町教育委員会

電話 253-4769

担当 トータルコーディネーター



通学路に寄り添って

## 学習への応援



鍛冶体験三水小【3年生】



ドリル学習マル付けボランティア  
【牟礼小5年生】

りんご収穫学習  
【牟礼小3年生】



茶室学習  
【三水小4年生】



『コミュニティスクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させて協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく仕組み』

(文部科学省)

3つの小中学校が地域の学校として、子どもたちや住民にとって心の拠り所の学校となるよう今まで以上に地域の皆さんが学校に入り、子どもの成長を支えていくことを目指していきます。コミュニティスクールに関わっては、本たよりにてお知らせしていきます。

上記のようなコミュニティスクールを目指して飯綱町では、「運営委員会」「おらほの学校応援団」「トータルコーディネーター」が組織されています。それぞれの役割は以下の通りです。

#### 【1】運営委員会

委員は、学校長、教頭、PTA会長、支援ボランティア、児童クラブ職員、社会教育委員、民生児童委員、保育園長、高等学校長、学識経験者等で構成され各学校にあります。本年度は、3回の運営委員会が計画され、そのうち2回目は3校合同で行いました。学校運営について各委員が意見を述べ、学校の課題を共に考え魅力ある学校づくりを目指しています。

#### 【2】おらほの学校応援団（学校支援ボランティア団体）

##### ○ 登下校の見守り<小・中共通>

応援団が出来る前から自主的に交差点、校門前に立ち見守りを行ったり、子どもに寄り添って歩いたりしてくださる方がいました。その方たちも含めて改めてボランティアを募り、現在20名の皆様が朝夕を中心に子どもたちの登校下校の見守りを行っています。

##### ○ 地域の専門家による学習支援

###### <小学校>

##### ① 調理実習、野菜・米作り等農業体験の学習への支援

子どもの授業と一緒に参加して、専門的な支援を行っています。

##### ② ドリル学習においてマル付けを担当と協力して行う支援（牟礼小学校）

###### <中学校>

##### ① 職場体験、起業体験学習

商工会事務局と連携し、町内企業の協力を得て実施しています。

(中2・3年生)

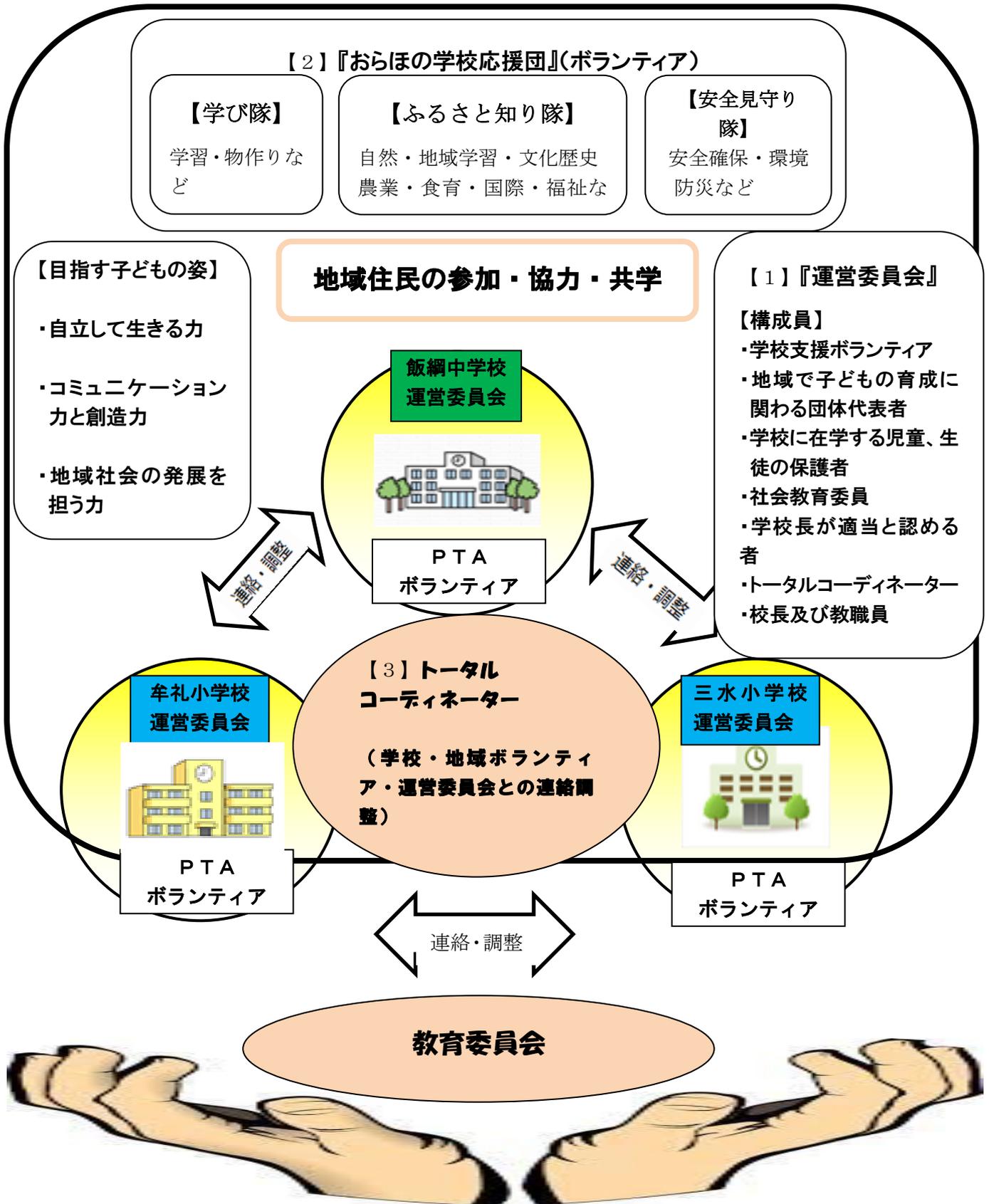
##### ② 飯綱中学校安心安全マップづくり

地震や暴風等の災害や防犯等の観点で地域を歩いて点検し、地図上に留意するポイントを示して、いざという時に備えています。(中1年生)

#### 【3】トータルコーディネーター

コミュニティスクールの事務局を担い、「学校」と「地域」を繋げ、「運営委員会」の運営を担当しています。(町教育委員会に所属)

# 飯綱町コミュニティスクール（イメージ図）



飯綱中学校(地域交流)

2学年は10月に町内の事業所のお力をお借りして職場体験学習

を行い、自分の進路を切り開いていく大事なステップを踏みました。学習発表会では、お世話になった事業所の方々をお迎えしたり、保護者の方々にも討議に加わっていただいたりするなど、働くことのさまざまな価値を受け入れながら、学習の足取りを振り返りました。また1学年は東日本大震災で被災された方の思いを受け止めて、飯綱町の防災環境を見つめ直す調査学習に取り組んできました。データを集めて考察を加えながら、11月に「飯綱中学校安心安全マップ」をインターネット上に発表しました。生徒が地域の学習材に触れて、地域の人々との関わりの中で学習を豊かなものにしていく学習環境づくりとして「飯綱町コミュニティスクール」の取り組みが少しずつ浸透してきています。飯綱中学校での成果の様子をお伝えします。

＊

## 「Let's enjoy 書道」～北部高校生との交流を通して～



去る12月26日の昼過ぎ、何やら大きな紙と道具を抱えた北部高校生の皆さんと先生とが中学校の昇降口にお見えになりました。北部高校書道部員とかがやき学級・ふれあい学級の交流授業です。題して「Let's enjoy 書道」。1.5m×3mの大きな紙に大きな『夢』の文字をしたためました。筆をバトンとして、「前の人のお思いを受け継いで書き上げる」リレー方式で書き上げました。身体全体を使った筆づかいで、字に思いをぶつけます。また、夢の文字の周りには、カラー墨で一人ひとりの「夢」も書き添えました。北部高校の皆さんから「力強く、次の人につながる文字が書けていました。」と、お褒めの言葉をいただきました。

北部高校書道部は積極的に町内の学校で交流活動を展開しています。北部高校のブログには、早速この日の授業の様子がアップされており、内容豊かな情報発信がされています。“地域を元気にする”というのはこうした身近な楽しい活動から始まるのかも知れません。北部高校書道部員のみなさん、また来てください！



＊



3学期始業式後の学活の時間に、3年生は学年集会を行い、「だるま」の目入れを行いました。大人が抱えても腕に余りある大きなこのだるま。前面には、堂々とした筆ぶりで「飯綱中学校」としたためられています。これは、JAながの飯綱支所さんから、飯綱中の3年生の合格を祈願し



て毎年学校に贈っていただいているものです。受験生の皆さんが安心して学び、毎日の生活ができるのは、お家の方や地域の方々の支援のおかげです。3年生生徒は感謝の思いを心に留め、春には美しい桜を咲かせることができるように、気持ちを引き締めて、日々の生活に生かしていってくれることでしょうか。JAながの飯綱支所の皆さま、地域の皆さま、本当に有難うございました。

